

主題：聖書の心臓部——ガラテヤ、エペソ、ピリピ、コロサイ

メッセージ 1

ガラテヤ人への手紙（1）

わたしたちの中の神の御子の啓示によって、現在の邪悪な時代から救い出される

聖書：ガラテヤ 1:3-4, 11-16

- I. ガラテヤ人への手紙の主題は、そらされた信者たちを悪い宗教の時代から救い出すことです——ガラテヤ1:3-4：
- A. 時代とは、サタンの体系であるこの世の一区分、一面、現在の、あるいは今の世相を指しています。サタンはそれを利用して、神の民を横領し占有し、神と神のご計画から引き離します——エペソ 2:2. I ヨハネ 2:14-15。
- B. 本書の文脈によれば、ここの現在の悪い時代は宗教世界、この世の宗教的潮流、ユダヤ教を指しています。ユダヤ教は文字の形式となり、その霊を消して人を死なせ、人と神との命における交流を殺し、神の新約エコノミーにおけるキリストの福音と争いました——ガラテヤ 6:14-15. 1:6-16. II コリント 3:6. ピリピ 3:2-3。
- C. キリストがわたしたちの罪のためにご自身を与えた目的は、わたしたちをユダヤ教、すなわち現在の悪い時代から救い出し、引き抜くことでした。これは神のみこころにしたがって（参照、I テモテ 1:3-4）、神の選びの民を律法の後見から解放し（ガラテヤ 3:23）、羊の囲いから連れ出すことです（ヨハネ 10:1, 3, 16）：
1. 雅歌の予表が啓示していることは、キリストはご自身を愛し追い求める者を霊の中に導き、彼女は霊の中で、キリストとの交わりの中で啓示を受けて、召会から分離させる場所をどのように離れ、羊の群れの足跡について行くかを見るということです——1:4 後半-8。
 2. 羊の群れは召会であり、キリストが彼の聖徒たちを放牧し、牧養し、養う場所です——ヨハネ 10:16. 使徒 20:28. I ペテロ 5:2。
 3. 主を追い求める者は、自分の満足のために主を追い求めていました。しかし、救われた罪人に対する主の関心事は、ただ彼らの満足のためではなく、神の永遠のエコノミーのためです。神のエコノミーは、罪人を救い、召会を得て、召会の本質が、新エルサレムの究極的完成の前身として、キリストの有機的なからだとなることができるということです——ローマ 5:10. 啓 1:11-12. エペソ 1:22-23. 啓 19:7-9. 21:2。
- D. わたしたちは、すべてを含む命を与える霊を通して使徒たちの教え（新約）を保持することによって、ユダヤ的な体系を伴う今日の墮落したキリスト教世界という悪い時代に打ち勝たなければなりません——使徒 2:42. I テモテ 1:3-4：
- E. ユダヤ教には地的な約束と地的な祝福がありますが、新約でわたしたちはすべてを含むキリストを持っています。それはキリストの計り知れない豊富の総合

計であり、わたしたちの唯一の祝福となります。それは、わたしたちが人を祝福し、神の豊満を生み出すためです——創 12:2-3. ガラテヤ 3:14. エペソ 3:8. 1:3. ルカ 12:21. 啓 2:9. II コリント 6:10. エペソ 3:19 後半。

1. わたしたちは三一の神の永遠の祝福をもって他の人を祝福します。永遠の祝福とは、わたしたちの享受のために、三一の神がご自身を彼の神聖な三一の中でわたしたちの中へと分与することです——民 6:23-27. II コリント 13:14.
 2. わたしたちは自分自身を神の中へと祈り込む必要があります。それはわたしたちが彼の中に絶えずとどまり、わたしたち自身とわたしたちの顧みの下にいる人たちを養うために、わたしたちの計り知れないほど豊かな命の供給としてのその霊を受けるためです——ルカ 11:1-13.
 3. このことはわたしたちを神に対して富ませ、わたしたちが神が何であるかのすべてをもって他の人を富ませることができ、彼の豊満という結果となります—— 12:21. 啓 2:9, II コリント 6:10, エペソ 3:19 後半。
- F. ユダヤ教には文字の律法がありますが、新約でわたしたちは命の霊の法則を持っています——ローマ 8:2. ヘブル 8:10. ローマ 2:28-29. 5:20.
1. ユダヤ教は律法に誤った地位に置きました。律法は、神によって与えられたキリストへの副次的な路線ですが、キリストは彼のエコノミーにおける主要な路線です。またユダヤ教は経綸上で安息日を守ることを誤って適用し、肉体の割礼を誤って解釈し、聖なる食事の規定を拡大解釈しました——ローマ 5:20. マタイ 11:28-30. コロサイ 2:11-12. ガラテヤ 5:6, 6:15. 使徒 10:11-16, 34-35.
 2. 旧契約、律法は神の証しであり、神の描写です。それはわたしたちに神がどのような方であるかを見せ、人を暴露し、人を服従させ、そして神の選ばれたものたちをキリストへと導きます——詩 78:5, 119:88 後半. 創 1:26. ローマ 3:19-20. ガラテヤ 3:23-25. ヨハネ 10:9-10.
 3. 律法の旧契約は神を描写しますが、恵みの新契約は神のパーソンです——ヨハネ 1:16-17.
 4. 律法は人に神が何であるかにしたがって要求しますが、恵みは神が何であるかをもって供給し、神の要求を満たします—— I コリント 15:10.
 5. わたしたちがキリストの中へと信じたとき、この描写されたパーソンがわたしたちの中へと入って来られ、わたしたちが霊にしたがって歩き、思いを霊に付けるとき、彼はわたしたちの中で律法の義の要求を満たされます——エゼキエル 36:26-27. ローマ 8:2, 4, 6, 10.
 6. 新契約において、神は選ばれた民の中へとご自身を彼らの命として置かれました。そしてこの命は法則であり、自然な、自動的な原則です——ヘブル 8:10. ローマ 8:2.
 7. 本質において、この律法はその霊としてのキリストにおける神です。そして機能において、それはわたしたちを神化する度量を持っており、わたしたちをあらゆる種類の機能を持った、キリストのからだの肢体に構成します——ローマ 8:10, 6, 11, 28-29.

G. ユダヤ教には仲介をする祭司がいますが、新約ではすべての信者が祭司であって、聖なる、また王なる祭司の体系となります——啓 1:5 後半-6. I ペテロ 2:5, 9. 参照, 啓 2:6。

H. ユダヤ教には物質の宮がありますが、新約で宮は霊の家、霊の中の神の住まいです——エペソ 2:21-22 :

1. ユダヤ教で、礼拝者と礼拝の場所は二つの異なるものですが、新約で、礼拝する場所は礼拝する者です——ヨハネ 4:24. 使徒 2:46. 5:42。

2. 御父の家は、宮で予表されています。それは、手順を経て究極的に完成された神が、贖われ、再生され、造り変えられた彼の選びの民とで構成された、神性と人性の合併です——ヨハネ 14:2, 20, 23. I テモテ 3:15. 啓 21:3, 22。

II. 神の御子は人の宗教と相対します——ガラテヤ1:11-16 :

A. わたしたちはみな神の御子の生けるパーソンと直接の、個人的な、生ける接触を持つ必要があります。もしわたしたちが神の臨在を持たずに神を礼拝し、神に仕え、振る舞い、自分自身を改善するなら、それは宗教です。使徒はキリストの目、すなわち、パウロとの最も近く、最も親密な接触において表現されたキリストのパーソン全体の目の指標にしたがって、キリストの臨在の中に生き、行動した者でした——II コリント 2:10。

B. 神の心の願いは、御子をわたしたちの中に啓示して、わたしたちが彼を知り、彼を命として受け入れ (ヨハネ 17:3. 3:16)、神の子たちとなることです (1:12. ガラテヤ 4:5-6)。

C. 「彼がまだ語っている間に、見よ、輝く雲が彼らを覆った。そして見よ、雲の中から声があって言った、『これはわたしの子、愛する者、わたしは彼を喜ぶ。彼に聞け!』」(マタイ 17:5)。「彼らが目を上げると、イエスご自身のほか、だれも見えなかった」(8節)。

D. 聖書の中心点は、実行、教理、規定ではありません。それは神の御子の生けるパーソンです。御子は三一の神の具体化であり、すべてを含む霊として実際化され、わたしたちの霊の中で、わたしたちに彼を享受させ、彼の豊富にあずからせ、彼を生きさせます——I コリント 15:45 後半. II コリント 3:17. ピリピ 1:19. ガラテヤ 6:18 :

1. 神の目には、宗教や伝統に地位はありません。ただ御子の生けるパーソンにだけ地位があります。神は他の何をも顧みず、ただこの生けるパーソンだけを顧みます——コロサイ 1:18 後半. 2:16-17. 3:10 後半-11. マルコ 9:7-8。

2. 召会生活の実際また内容としてのこの生けるパーソンがなければ、召会生活でさえ伝統になってしまいます。召会はこのパーソンのからだ、彼の豊満、彼の実際的な生ける表現です——エペソ 1:22-23. 3:8-11, 16-19。

III. 神の御子の生けるパーソンを明らかに示し、啓示することほど、神にとって喜ばしいことはありません——ガラテヤ1:15前半, 16前半. II コリント3:14-17. 4:3-6 :

A. わたしたちが神の御子についての内側の主観的な啓示を受ければ受けるほど、

ますます彼はわたしたちの中で生きています。彼がわたしたちの中で生きれば生きるほど、ますますわたしたちにとってアブラハムの祝福、すなわち、すべてを含む、命を与える霊の祝福としての、すべてを含む地の実際となります——ガラテヤ 2:20. 3:14。

- B. わたしたちが自分の観念を落とし、心を主に向け、霊に注意を払い、祈りの霊と雰囲気の中で御言に時間を費やすなら、キリストはわたしたちの中に啓示され、わたしたちの中に生き、わたしたちの内に形づくられます—— 1:16-17. 2:20. 4:19。
1. わたしたちは自分の観念を落とさなければなりません。すべての観念は、霊的であっても肉的であっても、おおいです。この内側の啓示はわたしたちの霊の中にあり、わたしたちの照らされた思いを通してあるようになります—— II コリント 3:14-15. 4:4. エペソ 1:17-18. ルカ 24:45。
 2. わたしたちは心を主に向けなければなりません。心を主に向ければ向けるほど、この時代の神はわたしたちの命また存在の中でますます地位を持たなくなっていき、わたしたちは天の光の輝きの下にいて、この生けるパースンの内なる啓示を受けます—— II コリント 3:16, 18. 4:4. 参照、マタイ 4:8-11。
 3. わたしたちは自分の霊を顧み、注意を払わなければなりません。わたしたちの霊の中で、その霊はキリストをわたしたちの中に照らし、啓示し、キリストについてわたしたちに語ります——エペソ 1:17. 3:5. 参照、Rev. 1:10. 2:7. 4:2. 17:3. 21:10。
 4. わたしたちは御言を祈り読みしなければなりません——エペソ 6:17-18. 詩 119:15。
- C. わたしたちは神の御子の啓示に満ち、こうして新創造となる必要があります。そして、キリストがわたしたちの中に生き、わたしたちの内でも形づくられ、すべてを含む霊として絶えずわたしたちによって享受される必要があります——ガラテヤ 6:14-15。
- D. 「わたしたちが観念を落とし、心を主に向け、霊に注意を払い、御言に時間を費やすなら、キリストはわたしたちの中に啓示され、彼はわたしたちの中に生きられ、わたしたちの中に形づくられるでしょう。日ごとに、彼はますますわたしたちの享受となられます。……ガラテヤ人への手紙を書く時のパウロの負担と、わたしたちの今日の必要は、わたしたちが神の御子の啓示で満たされている状態にもたらされ、それによって、わたしたちの中に生きておられ、わたしたちの中に形づくられつつあり、すべてを含む霊として絶えずわたしたちによって享受されているキリストをもって、新創造となることです（ガラテヤ人への手紙ライフスタディ、第4編）」。